



#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児の保育料の助成により、保護者の負担軽減が図られた。</li> <li>・私立保育所の整備(24施設)により、子どもの安心・安全の確保が図られた。</li> <li>・家庭訪問型子育て支援(アウトリーチ)事業の実施団体を増やすことにより、地域の子育て支援の強化が図られた。(6団体→8団体)</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の子育て支援に取り組む企業を対象に、奨励金の交付やアドバイザーの派遣を希望するモデル企業を募り、10社を指定したことにより、仕事と子育ての両立支援を図った。</li> </ul>

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	子育て支援対策充実事業	1,041,525	継続	36
	大分にこにこ保育支援事業	254,296	継続	33
	児童福祉施設整備事業	28,664	継続	37
	地域子育て支援拠点機能強化事業	34,928	継続	35
	放課後子どもプラン推進事業	392,822	継続	34
②	ワーク・ライフ・バランス実践支援事業	13,279	継続	141

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<ul style="list-style-type: none"> <li>○おおいた子ども・子育て応援県民会議(H25.7.4)</li> <li>・子育て支援事業のメニューは十分揃っている。県民に100%周知されることが大事である。</li> <li>○おおいた子ども・子育て応援県民会議(H25.10.16)</li> <li>・情報の周知は繰り返し重要で、具体的な体験談を伝えることが効果的だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大分県男女共同参画審議会(H25.8.20)</li> <li>・共働き世帯にとって病児保育はとても大事。保育環境をどう整えていくかが一番重要だと思う。</li> <li>○平成25年度第1回大分県男女共同参画審議会(H25. 8. 20)</li> <li>・男性の育休取得等、制度を利用しやすい職場から実績を上げた方が良いと思う。</li> </ul>
--	--

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童の解消や施設の老朽化に対応するため、引き続き保育所整備を支援する。</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業の実施について、国の事業要件緩和を積極的にPRし、類似・代替事業も含め市町村への働きかけを強化する。</li> <li>・病児・病後児保育等の推進を図るため、施設整備や先進事例見学会等の実施等により、市町村や医療機関等への支援を強化する。</li> <li>・保育サービスに携わる人材の確保、保育所等の機能強化を図る。</li> <li>・地域社会全体に子育てと子どもの健やかな成長を見守り、支援する意識を醸成するため情報発信の強化を図る。</li> <li>・長時間労働を見直し多様な働き方が可能となる職場環境を整備するため、引き続き経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの推進を図る。</li> </ul>